

授業概要

- ・幼児に豊かな音楽経験を提供できる保育者にとって必要なピアノ演奏技術を習得するために、個人レッスンを主体とし、履修者のレベルに応じた曲を指導する。
- ・クラスを2分割し、45分で個人レッスンを受ける学生とクラス授業を受ける学生を入れ替えて指導する。
- ・クラス授業では、楽典の指導およびソルフェージュ(視唱・リズム)を指導する。
- ・毎回ワークシートを課すが、全て提出し個人レッスン担当教員のチェックを受ける。

授業計画

第1回	・ガイダンス	第16回	演奏記号
第2回	五線と加線	第17回	速さの変化を示す記号、省略の「.」
第3回	個人 レ ッ ス ン	第18回	速度記号
第4回		第19回	秋期試験曲の解説
第5回		第20回	音程 度
第6回		第21回	音程 長短
第7回		第22回	音程 完全・増・減
第8回		第23回	和音
第9回		第24回	和音の種類
第10回		第25回	コードネーム
第11回		第26回	簡易伴奏作り
第12回	第27回	移調と転調	
第13回	第28回	楽典のまとめ①(階名・音名・拍子等)	
第14回	第29回	楽典のまとめ②(音程・和音等)	
第15回	第30回	試験(実技)	
	第31回	試験(筆記)	

到達目標

- ・ブルグミュラー作曲「無邪気」を暗譜で弾けるようになる。(学年末試験の必修課題とする。)
- ・幼稚園や保育所で歌われる童謡の伴奏ができる。
- ・リズム課題50題のうち、25題以上合格する。
- ・楽譜を見て階名唱ができる。
- ・演奏に必要な楽典を理解する。

履修上の注意

- ・爪は短く切っておくこと。
- ・欠席をしないようにすること。(原則として遅刻も認めない)
- ・ワークシート等、プリント課題は全て提出すること。
- ・返却されたワークシートや配布されたプリントを収めるケースを用意すること。
- ・遅刻は、やむを得ない場合15分以内で認めることがある。それ以降は欠席とする。遅刻3回で欠席1回とする。

予習復習

- ・個人レッスンにおける練習課題曲は必ず予習してくること。
- ・一週間の練習状況を「レッスンの記録」に記入して提出すること。

評価方法

- ・実技試験、筆記試験、練習課題曲の達成度、提出物を総合評価

テキスト

- 『大学生のためのピアノアルバム―「ちょうちょう」からキラキラ星変奏曲」まで―』  
金指初恵著 大学図書出版
- 『心を育む子どもの歌』南曜子著 教育芸術社
- その他必要に応じてプリント配布